

10/31
(土)

琉球大学生・宜野湾高校生・社会人が共に考える
学生がデザインするまちづくり



本市と琉球大学が連携して実施する「学生がデザインするまちづくり講座」の普天間地区のフィールドワークが行われました。本講座は、市職員の講話や、フィールドワークなどを通して、地域課題を発見し、解決策を主体的に考える実践的な授業となっています。



▲「学生がデザインするまちづくり」の詳細については、コチラをご覧ください

11/11
(水)

JA共済地域貢献活動の一環として
オリジナル親子健康手帳ケースを寄贈



JAおきなわ宜野湾支店の関係者が市役所を訪れ、平成29年から今年で4回目となる「オリジナル親子健康手帳ケース」1200部を寄贈しました。同支店の桃原篤支店長は、「次世代を担うお子さまの誕生を祝うとともに、安心して子育てが行える支援として行っています」と話しました。「オリジナル親子健康手帳ケース」は、親子(母子)健康手帳の交付時に、保健相談センターで配布しています。

11/10
(火)

今年も新たな宜野湾市の魅力が生まれました
宜野湾市特産品推奨認定証を授与

宜野湾市商工会では、本市の特産品および観光資源活用サービスを推奨し、製造業者の生産技術と生産意欲の向上、販路の拡大を推進することを目的に、宜野湾市特産品推奨品を認定しています。令和2年度「宜野湾市特産品推奨認定証」の授与式が市役所で行われ、市内5事業所の8品が認定されました。市商工会の福里清孝会長は、「事業者の皆さんには、これからも意欲をもって取り組んでいただきたいと思います」と激励しました。



令和2年度 宜野湾市 特産品推奨認定証 受賞事業者	企業名	商品名
	株式会社 islandworks	びんがた柄セミオーダーかりゆしウェア
	合同会社 MC企画	Uチュラ化粧石けん
	工房 春うらら	琉球白寿面シーサー・琉球面シーサー
	合同会社 沖縄れんこん	れんこんパウダー / れんこん麺 / むじ麺 / れんこんのど飴
	OLY CAFE	オリードーナツ

★11月は教育月間「ぎのわん教育の日」表彰式★



宜野湾市教育委員会では、市民の教育に対する関心を高め、理解を深めるとともに、宜野湾市の教育の充実と発展を図るため、11月1日を「ぎのわん教育の日」と制定しています。11月6日、市社会福祉協議会において「ぎのわん教育の日表彰式」が開催され、教育の振興発展に貢献し、他の模範として推奨に値する業績もしくは善行があったと認められる方へ功労賞、活躍賞が贈られました。

功労賞部門(14件)	
中原 勉/宮城 政一/入慶田本 浩徳/桃原 高/ぎのわん the Blenders/松門 正/富濱 宗慶/伊佐区青年会/大謝名団地花植え隊/富山 裕治/渡辺 紘志/喜友名地区 交通安全ボランティア/新城老人会 交通安全見守り隊/(故)與那覇 澄子	
活躍賞部門(5件)	
金城 史侑/金城 禾明/嘉数中学校 野球部/嘉数中学校 吹奏楽部/嘉数中学校 女子バレーボール部	

10/15
(木)

温かいご支援、ありがとうございます
子どもの居場所へお米などの食料品を寄贈



Eスペースグループのファラオ我如古店より、子ども食堂を実施している社会福祉法人はごろも福祉会へ、お米やお菓子などの寄贈がありました。この取り組みは、平成30年から行われており、長期にわたって地域の子どもの居場所の活動を支援いただいています。はごろも福祉会からは、「こんなにたくさんのお米やお菓子を本当にありがとうございます。子どもたちも喜びます」と感謝の声がありました。

10/20
(火)

市民の立場で、地域の身近な相談窓口
民生委員・児童委員へ委嘱状伝達式



地域住民の相談や支援等を行う民生委員・児童委員の委嘱状伝達式が市役所で行われ、新垣真弓さん、上地律子さんへ厚生労働大臣と沖縄県知事からの委嘱状が手渡されました。新垣さんは、「民生委員1年生として先輩や市と協力して頑張っていきます」と話し、上地さんは、「コロナの影響でまだ活動できていませんが、少しでも地域のために活動していきたいと思います」と意欲を語りました。

10/27
(火)

世界で活躍する「宜野湾っ子」へ
宜野湾市中学生英語ストーリーコンテスト



各中学校から選出された市内在住の中学生が、英語のみで発表を行う「英語ストーリーコンテスト」が行われました。1、2学年合わせて18名が、発音表情などに工夫しながら発表し、平良莉子さん(宜野湾中1年)と内村友菜さん(普天間中2年)が各学年の部で1位を受賞しました。審査委員長を務めた琉球大学の深澤真准教授は、「レベルの高さに驚きました今日のスピーチはとてもよい経験になったと思います」と講評しました。

10/17
(土)

戦後75年の節目に平和を考える
「戦の語り部功労者」感謝状を受賞



嘉数高台公園で平和ガイドを行う伊波義雄さん、宮城勲さん、石川信一さんに、沖縄県から「戦の語り部功労者」として感謝状が贈呈されました。3名は、沖縄戦当時の状況や平和の尊さを20年以上にわたって、後世へ語り継ぐ姿勢が評価され今回の受賞となりました。沖縄平和祈念堂で開催された贈呈式に、代表して出席した伊波さんは、「若い世代に真の平和を伝える事が課題だ」と話しました。

10/25
(日)

スマホでつながる、交流社会へ
高齢者向けのスマホ教室を開催



宜野湾市女性団体連絡協議会(波平道子会長)が、上大謝名公民館において「高齢者向けのスマホ教室」を開催しました。同教室は市民提案事業助成金を活用しており、高齢者がスマホを使いこなして、世代を超えた交流社会を築くことを目的に行われました。受講生は、沖縄国際大学の学生と交流しながら、スマホの機能や便利なアプリの使い方などを実践方式で学びました。

10/30
(金)

個人30名、16団体が表彰されました
宜野湾市社会福祉大会が開催



多年にわたり社会福祉の発展に功労のあった方々を顕彰し、地域福祉のさらなる充実と発展を目的に、第39回宜野湾市社会福祉大会(主催:市社会福祉協議会)が開催されました。被表彰者を代表して、社会福祉協議会理事として10年以上従事した宮城哲哉さんは「私をはじめ表彰された皆さんは、所属団体や同僚、家族の支えがあったからこそこの受賞であり、感謝の思いでいっぱいだと思います」と受賞の喜びを語りました。